

編集後記

今年の夏は、各地で40度を超えるような観測史上最高気温を記録する異常な暑さに見舞われました。気象予想では本号が出版される頃においても平年より気温が高いとされており、年を追うごとに暑さが厳しくなっていることを実感します。6月からは職場の熱中症対策が義務化されるほど事業継続にあたっては大きなリスクとなっています。

本号は「安全対策・労働災害防止」がテーマです。

労働災害は減少傾向にありますが、安全への取り組みには終わりはなく、従来の安全に対する取り組みに加え、ICTやAIなど新たに開発されている技術の活用が進められています。自動運転など、無人となることでリスクが減少する一方で、今までにない技術や現場環境の下で発生する新たなリスクへの対処も求められており、安全に関するガイドラインの策定や対策も進められています。

巻頭言では、東京大学の割澤先生から「大学における環境安全教育の事例紹介」と題して寄稿いただきました。大学においては、学術分野が多様で取り組む環境安全の対象も幅広く、また外国人留学生など多様な人材の国籍・背景を考慮した独自の環境安全教育体制を整備するなど安

全への取り組みをご紹介いただきました。人材の多様化など取り巻く環境について建設業界にも通ずる内容ではないかと感じています。

行政情報では、人口減少が予測される中インフラ整備・維持管理の持続のために、省人化・生産性向上として進められている自動化や遠隔操作において従来にはなかった危険事象への安全確保が求められており、国土交通省の取り組みや安全ルールの策定についてご紹介いただきました。

また、一般には目にすることのない山岳トンネル工事で進められている施工の自動化・遠隔化技術を通じた災害防止対策への具体的取り組み事例をご紹介いただきました。

特集報文では生成AIを活用した安全管理支援や安全教育の質向上への取り組み、VRでのクレーン危険体験や、現実空間と同調させたデジタルツインを活用したクレーンの安全管理・制御システムの構築、トンネル工事において安全性が課題となる切羽作業での作業、計測、臨場などの遠隔化についての具体的取り組み、建設機械の安全機能など様々な分野、技術について広く寄稿いただきました。

最後になりましたが、突然のご依頼にもかかわらず快くお受けいただいた執筆者の皆様、関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

(丹治・小林)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	見波 潔

編集委員長

中野 正則 日本ファブテック(株)

編集委員

吉田 真人	国土交通省
大津 太郎	農林水産省
早矢仕 明	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
丹 秀男	鹿島建設(株)
田村 憲	大成建設(株)
岡田 雄大	清水建設(株)
田下依莉花	(株)大林組
鈴木 秀之	(株)竹中工務店
小林 茂樹	(株)熊谷組
田浦 義真	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
加取 新	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
眞鍋 匠	五洋建設(株)
那須野陽平	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
二塚 勇吾	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

10月号「解体、3R、建設発生土・廃棄物処理特集」予告

・福島第一原発事故で発生した除去土壌等のこれまでの取り組みとこれから ・第五次循環型社会形成推進基本計画 ・精密衝撃破砕工法による馬蹄形ジベル式合成桁橋のRC床版解体・撤去 ・鉄骨ブラズマ切断装置を用いた環境配慮型超高層建物解体工法 ・世界最大級の超大型解体重機を用いた煙突解体 ・打撃速度可変型油圧ブレーカの紹介 ・JIS規格外フライアッシュを用いたCSG配合検討とダム本体への適用 ・解体建物の構造部材を新築へ生かすリユースの取り組み ・軽油代替燃料を用いた建機運用実験 ・環境負荷を大きく低減する地盤改良工法「リソイルPro工法」を開発 ・ハイパースペクトルを用いた災害廃棄物の種類と量の推定 ・廃棄物処理施設整備の最前線 ・カーボンニュートラルに向けた建設現場の新たな取り組み

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 10,032円(税・送料込)

建設機械施工

第77巻第9号(2025年9月号)(通巻907号)

Vol.77 No.9 September 2025

2025(令和7)年9月20日印刷

2025(令和7)年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部 〒460-0003 名古屋市中区錦 3-7-9	電話 (052) 962-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中